

「防」として考え続けるきっかけを提供する施設」をコンセプトに、2022年10月に開館。南三陸町民たちの言葉や語りなどを震災伝承の柱にしなから、事実を知るだけではなく、「自分がある場にいたら、どう行動したか」「今後自分が自然災害に遭遇したら、どう判断し行動するか」を考えるための有料ラーニングプログラムを提供しています。館内では防災ミニブックを配布しているので、持ち帰って防災・減災について考え、話し合ってみましょう。

ほか、フランスの現代美術家・クリスチャン・ポルトانسキー氏のインスタレーション空間「MEMORIAL」を展示しています。みんなの広場では、写真家・浅田政志氏と町民が一緒に作り上げた作品集「みんなで南三陸」から、19点を抜粋し展示。同施設の隣には南三陸町震災復興祈念公園があり、震災遺構の旧防災対策庁舎も見学できます。



無料エリアのみんなの広場は、復興支援への感謝、町民のくじけない心と生きる喜びを伝える空間。悲しみで落ち込むだけでなく、復興へと歩み続けてきた町民の力強く明るい姿に、見ている側が元気をもらえる



館内は無料・有料エリアで区分。有料エリアのギャラリーでは、住民たちの証言をもとに、震災のエピソードをまとめた震災遺物資料をはじめ、旧防災対策庁舎で被災した役場職員の証言映像などを見られる



有料エリアのラーニングシアター。住民たちの証言でまとめられた60分または30分のラーニングプログラム映像を見て、周りの人と対話しながら、自然災害を自分のこととして考えることができる

考えてみよう

Q1 クリスチャン・ポルトانسキー氏の作品「MEMORIAL(メモリアル)」にはどんな意味が込められ、どんな空間になっているのでしょうか？

Q2 地元産の南三陸杉をふんだんに使った同施設の設計は、建築家・隈研吾氏が担当しました。どんな物をイメージし、設計されたのでしょうか？

●みなみざんりくちょう
南三陸町

●みなみざんりくちょうひがしにほんだいいんさいでんしょうかん
南三陸町東日本大震災伝承館
南三陸311メモリアル

施設が投げかける「あなたならどうする?」

南三陸町の被害状況

最大震度	6弱
浸水面積	10km ²
最大浸水深	32.75m
全壊	3,143棟
半壊	178棟
一部損壊	1,204棟
死者	620人
行方不明者	211人
負傷者	不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示
交流拠点

施設ガイド 車椅子OK

施設DATA

●みなみざんりくちょうひがしにほんだいいんさいでんしょうかん
みなみざんりくざんいちいちめりある

南三陸町東日本大震災伝承館
南三陸311メモリアル

☎ 0226-47-2550 MAP P114D2

住 南三陸町志津川五日町200-1
 交 BRT志津川駅から徒歩3分
 時 9~17時
 休 火曜(祝日の場合は翌日となる場合あり)
 料 レギュラープログラム(60分):1000円、高校生800円、小・中学生500円
 ショートプログラム(30分):600円、高校生500円、小・中学生300円
 備 あり(大型バス:あり)
<https://m311m.jp>